

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加茂高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月20日(火) 15:00~18:00
- 3 開催場所 加茂高等学校同窓会館2階会議室  
開催にあたり、委員による授業参観(全日制・定時制)を実施した。
- 4 参加者
- |       |        |                    |
|-------|--------|--------------------|
| 会 長   | 若尾 達也  | 全日制PTA会長           |
| 副会長   | 松井 彰良  | ウインズコーポレーション 代表取締役 |
| 委 員   | 今井 一彦  | 司法書士               |
|       | 尾関 里佳  | 地域代表               |
|       | 桑原 みち子 | 定時制教育振興会長          |
|       | 松尾 和樹  | 可児市議会議員 NPO法人縁塾    |
|       | 武市 由紀子 | 元特別支援学校校長          |
| 学 校 側 | 森川 賢二  | 校長                 |
|       | 高水 正明  | 副校長                |
|       | 小林 竜二郎 | 教頭                 |
|       | 松久 潤   | 教頭                 |
|       | 伊藤 強   | 事務長                |
|       | 山中 徹也  | 教務主任(全日制)          |
|       | 箕浦 涼   | 教務主任(定時制)          |
|       | 酒井 宏昌  | 生徒指導主事(全日制)        |
|       | 武藤 秀彦  | 生徒指導主事(定時制)        |
|       | 水口 智人  | 進路指導主事(全日制)        |
|       | 渡辺 純也  | 進路指導主事(定時制)        |

## 5 会議の概要(協議事項)

## (1) 令和5年度学校教育目標・具体的重点目標について

## 【全日制】

- ・令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画
- ・令和5年度各分掌の現状と課題及び年間目標と具体的取組

意見1:「今未来手帳」の効果はどうか。効果的に使えているか。

⇒ 1年生から活用することで、習慣がなかった生徒が使えるようになってきた。

意見2:中学校でも生活記録をつけて、自己管理能力が身につくようにしている。手帳がうまく使えていない生徒や時間が守れない生徒をどう指導するかが課題ではないか。

意見3:習熟度授業に対する成果や、生徒及び保護者の意見はどうか。

⇒ 概ね良好であるが、生徒や保護者が何を望んでいるか、現状分析をする必要がある。

意見4:教員が不足していると聞くが、現場ではどうなのか。どう対応しているのか。

⇒ 30代半ばから40代の教員が少ないのが現状だが、再任用の制度を効果的に使っている。

意見 5 : 現代社会において不登校が増加していると聞くと、加茂高の現状はどうか。  
また、主な理由は何か。

⇒ 4～5月、集団で生活することや人間関係づくりが苦手で、うまくスタートが切れず休んでしまう生徒が数名いた。加茂高に入学してよかった、と思う生徒が増えるように働きかけ、地域から信頼される学校づくりをしていきたい。

意見 6 : 不登校や長欠の生徒に対して、どのような対応をしているのか。

⇒ 面談や保護者との連携など、個別に対応をしている。また、学校に常駐するスクール相談員や、スクールカウンセラーに繋いだりもしている。

意見 7 : 中学校でも不登校が多いと聞く。その理由がわからないという生徒への対応が課題である。起立性障害をもった生徒も多い。通信制に進学する生徒も増えている。

意見 8 : 遅刻する生徒は増えているのか。遅刻防止として、どんな対策をしているのか。

⇒ 遅刻者数は減少している。手指消毒が緩和され、早くから校舎に入れるようになったため、登校が早まった。不注意による遅刻も減少している。予鈴前に入れるように、予鈴遅刻の指導をしてきた成果が出ているのではないかな。

意見 9 : 部活動の方針はどうなっているのか。部活動の環境はどうか。

⇒ 平日は 18 : 30 までの正味 1～2 時間。部活動ガイドラインや働き方改革の観点から、持続可能な部活動の在り方を考えていく。

⇒ 令和 7 年度以降、グラウンド改修や照明の LED 化も要望したい。

意見 4 : 授業参観では、先生と生徒の距離を感じる部分があった。

意見 5 : 授業に集中している生徒が多い。通級指導などで学んだ生徒が自分の生活に生かせるとよいと感じた。

#### 【定時制】

- ・令和 5 年度教育指導の重点及び学校経営計画
- ・令和 5 年度各分掌の現状と課題及び年間目標と具体的取組

意見 1 : 外国人生徒に対する支援は充実しているが、一緒に生活している日本人生徒の英語力は上がらないか。資格をとるような指導はしていただけないか。

⇒ 外国人生徒と日本人生徒が一緒にいる時は、言語は混ざっている。来日した時期により日本語のレベルは異なるが、学年が上がるとともに上達している。生徒はその時々で使い分けている。日本人生徒に対して、英語検定などを引き続き紹介していく。

#### (2) 令和 5 年度探究活動計画 (全日制) について

- ・令和 5 年度探究活動の方針と重点
- ・令和 5 年度総合的な探究の時間の年間計画 (案)

意見 1 : 「地域の大人と語る会」(1 年生探究) を計画的実施していきたい。今まで出来なかったことにも積極的にチャレンジし、一人ひとり、個別最適な学びにつながるように協力したい。

意見 2 : AI やチャット GPT を活用することで、好奇心や探究心を育てたい。探究活動を進めていく中で、ICT 担当の先生に協力してもらいたい。

#### (3) その他

意見 1 : 校舎改修工事は、どんな予定になっているのか。どんな構想か。

⇒ 2 棟の改築 (1 年生教室) がほぼ終了。8 月に 1 棟の引っ越し、その後解体工事。令和 7 年に新校舎完成予定。校長室、職員室、定時制教室、会議室、理科教室など。昇降口で予鈴遅刻の生徒に声掛けをしていることも功を奏しているのではないかな。

意見 2：地域住民として期待したい。

意見 3：近年、Wi-Fi が整備されてタブレット端末も貸与されていると聞く。これからは教科書もデジタルに変わるのだろうか。先生の指導の仕方も変わるだろう。

## 6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。今後は本年度の具体的目標について得られた意見を参考にして、組織的な教育実践を行う。探究活動については、地域とのつながりを大切にした実践を行い、大学への入学だけを目標にするのではなく、大学へ入ってから学びの気持ちを持ち続け、さらに社会へ出てからも伸びる生徒の育成を目指す。